

大阪府原子炉問題審議会
平成25年8月8日
京都大学原子炉実験所

京都大学原子炉実験所の安全性等について

東京電力福島第一原子力発電所で発生した原子力災害を踏まえ、京都大学原子炉実験所の研究用原子炉（KUR）の安全性等について、次のとおり対応しております。

1. 原子力規制委員会への説明等について

今年度のKUR施設定期検査の最終立会検査前に東京電力福島第一原子力発電所の事故を踏まえたKURの安全性に関する説明を、5月13日に原子力規制委員会に対して行いました。また、7月1日には試験研究用原子炉施設の新規制基準検討のための事業者ヒアリングが行われ同様にKURの安全性について説明を行いました。今後、連絡・指示等がありましたら速やかに対応して参ります。

2. 施設・設備の基幹整備について

前回の本審議会において、ライフラインの整備計画についてご説明しておりますが、特にKUR用スタック（排気塔）の更新や放射性廃水用排水管の2重化の工事は平成25年8月から11月までの間KURの運転を停止して実施する予定となっております。工事中につきましては、ご迷惑をおかけすることのないよう十分に注意して進めますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。

3. 他事業所での放射性物質の漏洩事故について

平成25年5月23日に他事業所の加速器施設において放射性物質の漏洩事故が発生しました。これに伴い原子力規制委員会からは加速器施設の状況調査が、文部科学省からは加速器施設に係る安全管理体制等の再確認の通知がありました。その結果、原子力規制委員会において実験所の加速器施設で同様の事故が起こることはないことを確認したと報告されておりますが、安全管理体制等の再確認を行うとともに従事者への教育・指導を行うなど操作手順・管理等について徹底を図りました。